

つないでいきたいものがある。人がいる。

日本には気候や風土に添いながら、何百年も活用されている木造建築があります。それらの建物には、わが国の建築技術や産業、文化、歴史など様々な要素が醸成されて受け継がれてきました。

木材や素材を大切に使う気持ちを持ち続け、古材文化の会は、以下のことを目的として活動しています。

古建築及び古材の活用を促進します
伝統的木造建築文化と建築技能の継承と発展を図ります
資源と共存する持続可能な社会の実現を目指します

会員の資格

本会の目的に賛同される方は、入会できます

【個人会員】 1万円

【法人会員】 3万円

【賛助会員】 1口5万円

入会するには

古材文化の会事務局までお問い合わせください。
折り返し、入会申込書など資料をお送りします。

古材文化の会事務局

京都市東山区本町17丁目354番地

電話:075-532-2103 FAX:075-551-9811

京都市文化財マネージャー育成実行委員会（事務局団体）

2005年1月から4期、伝統建築保存・活用マネージャー養成講座を開催し、その後、京都市、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター、当会の三者で実行委員会を組織し、2009年1月から毎年、京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）を開催しています。



「古材文化」発行 隔月で会報「古材文化」を発行し、会の活動報告や各地域における歴史的建造物の保存・活用に関する取り組みなどを紹介しています。

企画部会 一般の人が気軽に参加できる見学会やワークショップを企画、運営しています。



伝える

活かす

利用相談部会 古い建物や民家を再生して活用したい、住み続けたいという相談に建築士を中心とした専門家が応じます。耐震改修の相談にも応じています。



育てる

支える

調べる

KOMO（伝統建築保存・活用マネージャー会）

伝統建築保存・活用マネージャー養成講座、京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）修了者のネットワークです。自主的な活動を軸とし、相互研鑽や親睦を図っています。

歴史ある建物調査室

行政や歴史的建造物の所有者から依頼を受けて、調査を行います。登録文化財、景観重要建造物にかかる申請業務も行います。

年輪年代学研究所

歴史ある木造建造物を始めとする各種の木質古文化財の年代判定と木材の樹種同定を主な業務としています。

